



# ほけんだより



2022年9月1日  
あおぞら保育園

まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすいい日が増えてきました。暑さに負けないエネルギーな子どもたちですが、そろそろ夏の疲れが出始める頃です。ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないようにしましょう。

暦上は、秋になりますが引き続き水分補給や適宜休息をとり、体調管理に努めていきます。そして、いよいよ運動会に向けて練習がはじまります。暑い日が続く中での練習となりますので、朝食はしっかり摂っていただき、水筒も忘れずをお願いします。怪我のないように見守っていきます。

## 8月の感染症

- RSウイルス・・・3名
- 突発性発疹・・・2名
- ヘルパンギーナ・・・1名
- 水ぼうそう・・・1名
- アデノウイルス（プール熱）・・・1名
- とびひ・・・4名



## 9月の保健行事

- 6日（火）秋の健康診断 14:30～（全園児）  
※当日欠席の方は、10月の0歳児健診時に受診します。  
9月の0歳児健診も兼ねています。
- 5日～9日 身体測定
- 2日（金）保健指導「鼻のかみ方」 ことり組
- 8日（木）" はな組
- 12日（月）" つき組

保護者の皆様には、受診や症状が落ち着くまで様子を見て頂く等、ご協力をいただきましてありがとうございます。8月中旬から、下痢や咳の症状や一旦解熱した後に、再度発熱するお子さんも増えています。また、今月は様々なウイルスの感染症が発症しています。症状によっては受診できなかったり、受診する際には、かかりつけ登録が必要などの病院もあるようです。受診前に、病院へ連絡を入れて確認しましょう。



## 9月9日は救急の日 ～救急相談等のご案内～



## 9月9日は救急の日

### 救急用品の点検を

- 救急ガーゼ  三角巾  包帯
- ばんそうこう  脱脂綿  綿棒
- はさみ  体温計  とげ抜き
- コピンセット  熱冷まし用シート
- ポリ袋  ポケットティッシュ
- 消毒薬、外用薬品 など

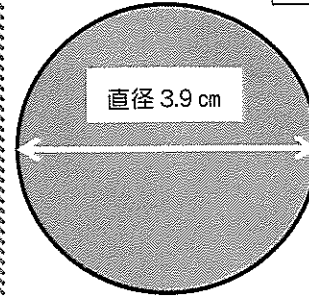
ご家庭に救急箱の用意はありますか？  
いざというときにすぐ取り出せるよう、必要な物をそろえておくとうれしいです。ときどきは中身をチェックして、期限の切れた薬品の入れ替えや、よく使う物の補充などをしておきましょう。

救急の日は、「救急について関心や理解を深めよう」という日です。救急とは、急に大変なことが起こった時に救うこと。特に、急に病気になった人や、けがをした人に応急の手当をすることです。

家庭の中にも事故やけがを招く危険なものがあります。事故を防ぐために確認してみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけないもの（薬・洗剤・たばこ・ライター・ポット・炊飯器・包丁などの刃物・針・子どもが飲み込める大きさの物・喉に詰まる恐れのあるもの）
- ・踏み台になるものをベランダに置かない。
- ・コンセントなどいたずらできないようにする。
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることある）。
- ・浴室には子ども一人で勝手に入れないようにする。
- ・玄関の鍵を一人で開けられないように工夫する。

## 誤飲チェック



これを参考に点検してみましょう。身近なもので簡単に手に入るトイレトーパーの芯で確認できます。ここに通るものは全て誤飲の危険性があります。

直径 3.9 cm 以下のものは子どもの口の中に入り窒息する危険があります。歯の生え初めや舐めたりかんざりするなどで物を認識しようとする6カ月頃からは、特に注意する必要があります。5歳児でも耳や鼻に玩具やお菓子を詰めたり、喉に詰まらせる事故が発生しています。東京消防庁によると過去に重症、または重篤と診断された事例では、せんべい・りんご・硬貨・洗濯用洗剤などがあります。子どもの手の届く所には置かないようにし、事故を防ぎましょう。

## 子どもの健康相談（小児救急相談）

東京都では、保健所や保健センターが開庁する時間帯に、小さなお子さんの急な病気などどう対応したらいいかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師へ電話による相談ができます。  
※ダイヤル回線からは、03-5285-8898

☎ #8000

- 受付時間 ●月～金（祝日・年末年始を除く）  
18時～翌朝8時
- 土・日・休日・年末年始  
8時～翌朝8時



## 防災週間（8月30日～9月5日）



9月1日は、防災の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。また、お子さんにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

## ～新型コロナウイルス感染症に関するお願い～

在園児や同居のご家族、またはご家族と同等の濃厚接触者の方等が「PCR検査を受ける」「陽性反応が出た」「濃厚接触者としての特定」等の情報がありましたら、すぐに保育園にご連絡いただきますようお願いいたします。体調に関しまして、登園するかどうか迷ったら園へご連絡ください。

保育園は集団の場ですので、引き続き一人一人の感染対策が重要になります。「コロナ禍における保育施設利用ガイドライン（第5版）」に基づき、お互いにルールを守って頂きますようお願い致します。お子さんの安心・安全を第一にご協力をお願いすることが多々あると存じますがよろしくお願い致します。

## 家電による事故を防ぎましょう

家電製品で思わぬケガをすることがあります。よく使うものだからこそ、子どもに「ダメ」と言わずに済むよう工夫しましょう。

- 熱くなるもの、熱気が出るもの  
炊飯器 電気ポット  
電気ケトル アイロン  
スチーム式加湿器 など
- 熱湯が出るもの  
電気ポット 電気ケトル  
フーマーサーバーの給湯口 など
- 子どもが入れるもの  
洗濯機  
ドラム式洗濯機では子どもが入って出られなくなる事故がありました。扉をロック機能では、のぎ込んだ子どもが落ちるおそれがあります。

対策① 子どもの手の届かないところに置く  
危険な家電は、子どもの手の届かない安全な場所に置きましょう。コードを引っ張って、熱くなったり家電が落下する事故も多いので気をつけて。

対策② チャイルドロックを活用して  
チャイルドロック機能があるものはぜひ活用しましょう。解除のひと手間はありますが、「ダメ」と言う必要がなくなります。

## 東京都発熱相談センター

- ・発熱等の症状がある方
- ・民間検査機関等で陽性と判定され、医師の診断が必要な方

（注意）

- ・かかりつけ医のいる方は、かかりつけ医に電話でご相談下さい。
- ・発熱等の症状を呈した方で、かかりつけ医のいない場合、土曜日・日曜日や夜間等かかりつけ医が休診の場合などの相談に対応します。

### 1. 発熱相談センター（看護師・保健師が対応）

03-5320-4592 または 03-6258-5780  
（土日祝・24時間対応）

### 2. 東京都発熱相談センター医療機関案内専用ダイヤル（一般オペレーターが対応）

03-6732-8864（土日祝・24時間対応）